

平成 17 年 10 月 18 日

**改修・撤去工事におけるフロン回収に係る実態・アンケート調査結果**社団法人日本空調衛生工事業協会  
環境問題委員会

調査日：2005.10 月 7 日～17 日

調査対象会員企業 17 社 回答企業 13 社 (76.5%)・ (2005.10.17 現在)

- ・業務用冷凍空調機器の改修・撤去工事におけるフロン回収に係る実態について  
次の各設問について、**実態として最も多いもの**を選んで回答して下さい。

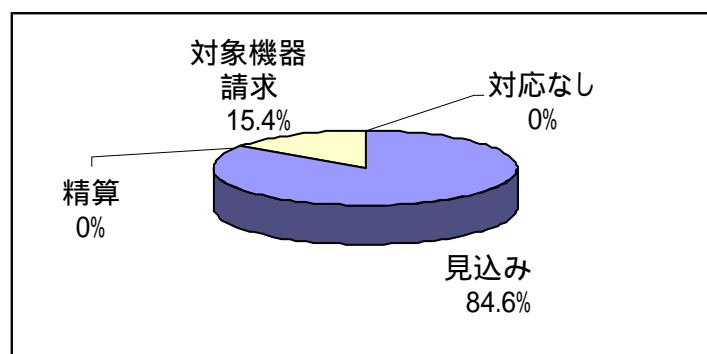
**問 1 . 受注時における対応について****( 1 ) 特命で施主から工事を直接受注する場合の条件明示とフロン回収費用について**

回収の責任と費用について説明し、条件明示をして、回収費用を見込み工事受注  
11 ( 84.6% )

回収の責任と費用について説明し、回収費は精算として受注 0

受注時に回収の説明はしないが、対象機器はフロン回収を行い費用を請求している。  
2 ( 15.4% )

フロン回収について工事では特に対応していない。 0



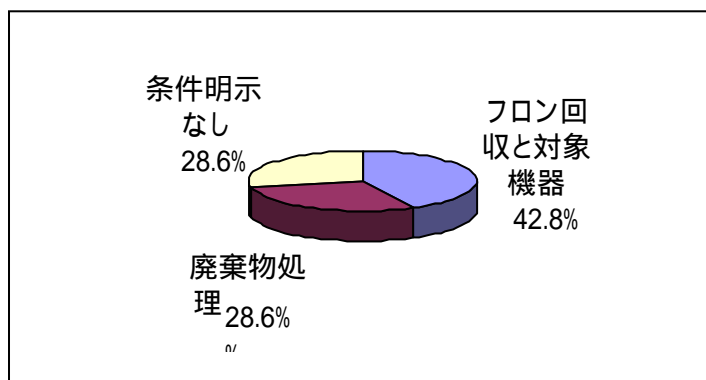
(2) 入札により元請として工事を受注する場合の条件明示とフロン回収費用について

1) 設計図書における条件明示の現状について(複数回答あり)

フロン回収と対象機器について条件明示されている。(受注件数の約%)  
 9(42.8%)(約40%、約50%-2件、約60%、約80%、約90%、約100%、%なし-2件)

廃棄物処理についてのみ明示されている。(受注件数の約%)  
 6(28.6%)(約20%、約40%、約50%、約90%、%なし-2件)

条件明示されていない。(受注件数の約%)  
 6(28.6%)(約20%、約50%、約80%、%なし-3件)



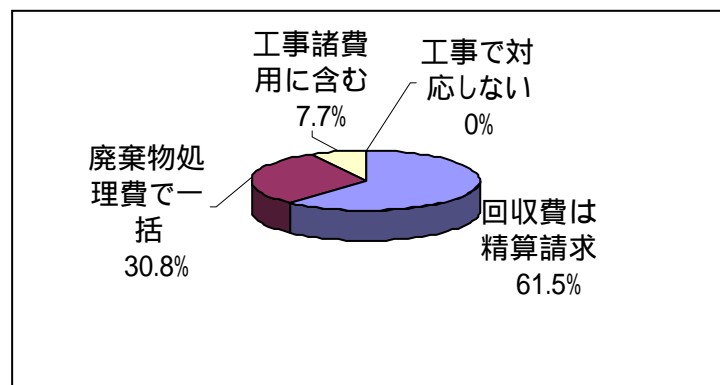
2) フロン回収について条件明示されていない場合の対応について

発注者に回収の責任と費用について説明し、回収費は精算請求としている。8(61.5%)

廃棄物処理費として一括で精算請求としている。4(30.8%)

工事の諸経費に含むものとして処理することとしている。1(7.7%)

フロン回収について工事では対応してない。0



**(3) 下請として工事を受注する場合の条件明示とフロン回収費用について**

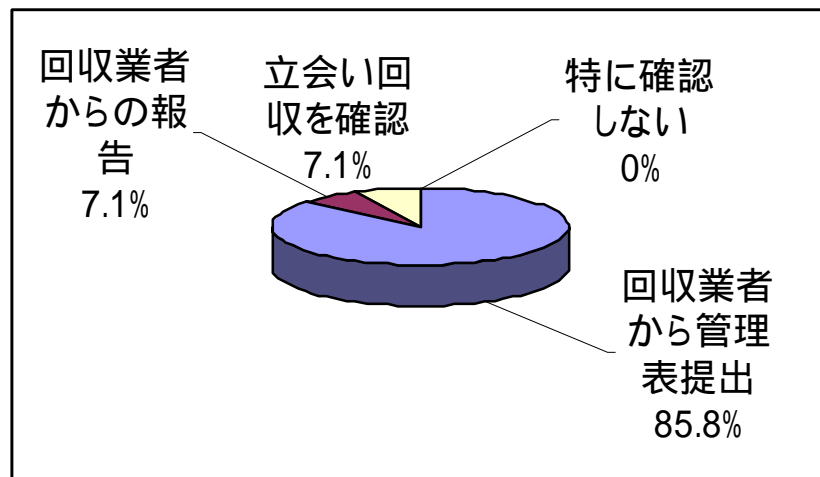
- 対象機器を含む場合、見積条件書にフロン回収費を明示し、受注している。 13(100%)
- 対象機器を含む場合、見積条件書に廃棄物処理費として一括明示し、受注している。 0
- 対象機器を含む場合、工事の諸経費に含むものとして処理している。 0

**問2 . フロン回収の工事における具体的対応について**

- 回収業者にフロン回収を行わせてから、機器の撤去処分をしている。 13(100%)
- ポンプダウンしフロン未回収で撤去し、回収業者にフロン回収と処分を依頼。 0
- ポンプダウンしフロン未回収で撤去し、廃棄物処理業者に処分させている。 0
- フロン回収について特別な対応はしていない。 0

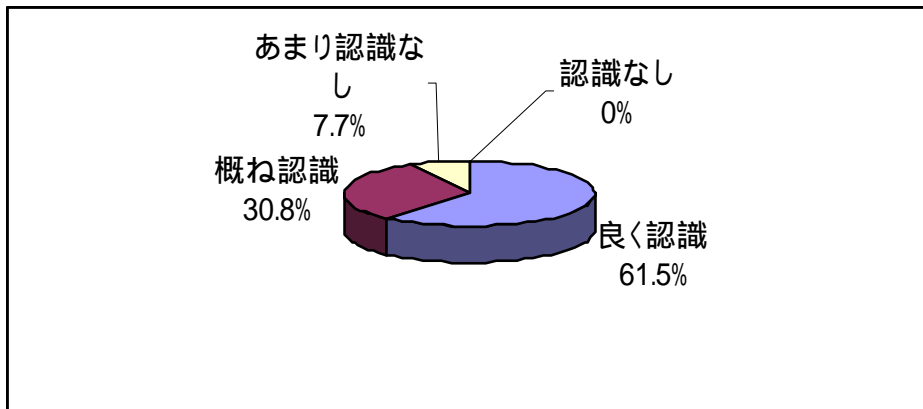
**問3 . フロン回収とその処理確認について(複数回答あり)**

- 回収業者にフロン処理の管理表を提出させ、適正処理を確認している。 12(85.8%)
- 回収業者の報告に基づき確認している。 1(7.1%)
- フロン回収時に立ち会い、回収を確認している。 1(7.1%)
- 特に確認はしていない。 0

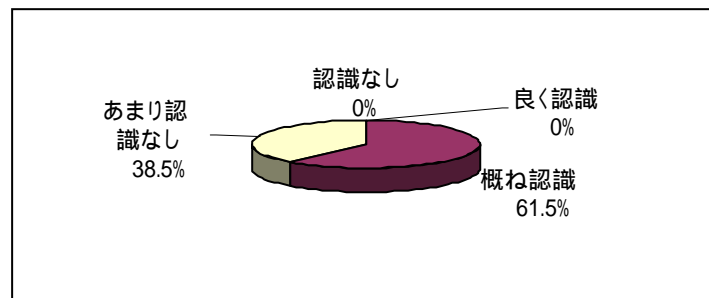


#### 問4、発注者のフロン回収に関する責任と、回収費用に関する認識について

公共工事： 良く認識 8 (61.5%) 概ね認識 4 (30.8%) あまり認識してない 1 (7.7%) 認識してない 0



民間工事： 良く認識 0 概ね認識 8 (61.5%) あまり認識してない 5 (38.5%) 認識してない 0



・業務用冷凍空調機器におけるフロン回収に関する社内の取組について

フロン回収に関する社内における取組の現状について回答して下さい。  
 (下記「問1」には必ずお答えください。)

問1.業務用冷凍空調機器の整備・廃棄時におけるフロン回収に係る実態について

(1)現場の担当者にフロン回収について周知徹底していますか?

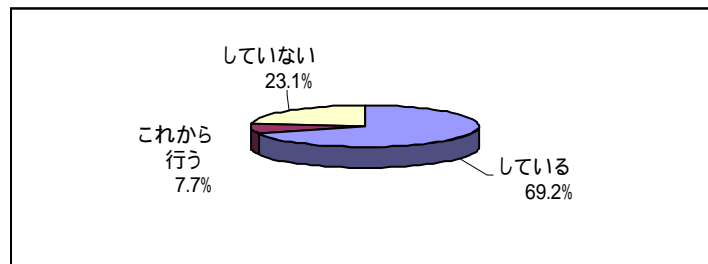
している 13 (100%)      これから行う 0      していない 0

(2)いつから回収の取組みを行っていますか?

1990年、1993年5月、1988年4月、2000年3月、2000年4月、2000年8月、  
 2001年8月、2002年4月-4件、2002年12月、2003年4月

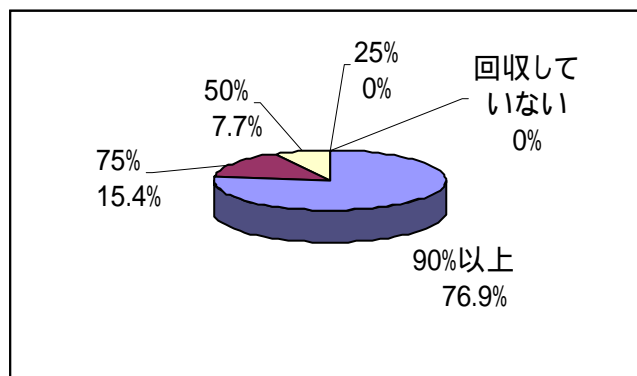
(3)フロン回収量を把握していますか?

している 9 (69.2%)      これから行う 1 (7.7%)      していない 3 (23.1%)



(4)貴社の工事におけるフロンの回収率ほどの程度と想定されますか?

90%以上 10 (76.9%)      75% 2 (15.4%)      50% 1 (7.7%)      25% 0      回収していない 0



**問 2. 業務用冷凍空調機器の整備・廃棄時におけるフロン類の排出抑制に係る取組みはどのようにしていますか？（複数回答可）**

業務要領による管理	8 (61.5%)
施工計画時のフロン回収計画の作成	8 (61.5%)
フロン回収伝票などによる管理	10 (76.9%)
その他 特に要領書はないが廃棄案件が発生した場合その都度回収業者に依頼	1 (7.7%)

**問 3. 現行フロン回収破壊法にはどのような問題点がありますか？（複数回答可）**

原因者負担の原則になっていない。	6 (46.2%)
廃棄物処理法と同じマニフィスト等の仕組みが望ましい。	6 (46.2%)
廃棄者（発注者）と回収業者の間に立つ工事請負者の役割が曖昧	4 (30.8%)
その他	0

**問 4. 今後のフロン類排出抑制に係る取組みについて(記述)**

ISO - 14,000 の活動を通じて回収量を把握する。

ISO14001 取得済(東京地区)。改修工事において廃棄フロンは 100%回収を目標としている。冷媒配管については、機密テストを確実にを行い、使用時配管からのリークの無い施工を行っている。

ISO14000 の取組みとしてフロン回収の徹底を図っており、今後も継続し実施する。

報告・届出を義務づける。

改修工事の比率が高くなってきており、施工前にフロン回収の有無を確認し、適切な処理を実施するよう指導している。

冷媒用フロンの適正な処理を積極的に推進

工事・営業担当者へのフロン回収に関する教育の徹底

当社としては排出抑制に向けた取組を、関係団体のご指導とメーカーの協力を得て、今後とも継続していきます。

排出者（客先）側に、明確な法的規制を設ける様、期待する。

・業者側の認識は高いが施主（機器使用側）のフロンによる環境破壊に対する認識はまだ高くない。行政によるPRをさらに望みます。

・整備あるいは廃棄時における回収量の完全把握

以上